

第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月10日(金)
児 童 男子8名 女子7名 合計15名
指導者 菊池 千佳

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材名 「平和のとりでを築く」
「自分の考えを発信しよう」

2 子どもの実態

子どもたちはこれまで、5年「サクラソウとトラマルハナバチ」や6年上「生き物はつながりの中に」などの説明文で、文章の構成や表現を手がかりに要旨を捉え、筆者の考えについて自分なりの考えをもつという学習をしてきた。筆者の意図や内容を把握し、感想を持つことができるようになってきている。しかし、読み取った内容や自分の考えを交流し、考えをさらに深めることについては十分とは言えない。

音読については、昨年度に引き続きめあてを持って取り組んでいる。多くの子どもたちは暗唱や音読発表をする時、相手や場所を意識し、読み方を工夫するようになってきている。学校や学級の行事では、相手を意識して大きな声で話すなど、音読の力が生活に生きてきている。

3 単元について

本単元は、「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」から構成されている。「平和のとりでを築く」を読み取るとともに、「平和」というテーマに関わる多様な資料を集め、それに学ぶだけでなく、それをもとに自分なりの考えを深め、その考えを外部に発信することで表現能力を高めることもねらいとする。

「平和のとりでを築く」は、原子爆弾によって「傷だらけ」となった産業奨励館が、多くの人々の平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。

日本人としてぜひ知っておきたい史実と、それが「世界」の「遺産」となった意味についての筆者の考えを丁寧に読みとらせたい。

いかに多くの人が、現在において「平和」を求めているか、未来を担う一員である6年生に、これからの社会のあり方は自分たち自身の問題でもあるという視点から、「平和」について考えさせるのに適した教材である。

4 指導にあたって

本単元では、筆者の訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えを持つことを主なねらいとしている。

第1次は、全文を読んでおおまかな内容をつかむ。題名の中の「平和」という言葉に着目させ、戦争や平和に関して知っていること、また初めて知ったことや疑問に思ったことなどを発表させ、学習課題の設定につなげていきたい。

第2次では「原爆ドーム」について、その歴史と世界遺産に指定されるまでの道のりを叙述に即して読み取っていく。文章構成や語句の使い方、表現を手がかりに、筆者の意図や内容を的確に読み取る(レベル1)。

また、常に筆者の考えや読み取ったことに対して自分の考えを書く活動を続けていき、事実と筆者の考えに対して自分の考えをもちながら読む力をつけていきたい(レベル2)。

第3次では、「平和」についての自分の考えを発信するために、多様な資料を通じて自分の考えを組み立て、文章を書く(レベル3)。課題はできるだけ具体的なものにし、一人一人が情報を集め、考えをまとめていけるようにする。

5 学習指導目標

(1) 関心・意欲・態度

○筆者の考えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心を持って読んだり、話し合ったり、書いたりしようとする。

(2) 能力

◎内容を的確におさえながら要旨を捉えることができる。 【読むこと イ】

◎書かれている内容について、自分はどのように考えるかを明確にしながらかんんでいる。 【読むこと ウ】

○自分の考えを深めるために必要な資料を読み取っている。 【読むこと ア】

○自分の考えを明確に表現するために、必要な材料を選び、整理して全体の組み立てを考えて書いている。 【書くこと ウ】

(3) 言語についての知識・理解・技能

○中心の語句や漢字の意味を理解し、指示語の効果的な使い方を身に付けて、書いたり話したりするとき適切に使っている。 【言語事項 オ(ア)】

6 単元重点指導計画 (13時間)

過程	時	指導目標 ・主な学習活動 ※音読活動	評価規準		
			関心・意欲・態度	中心となる能力	言語事項
第1次	1	<p>学習の見通しをもち、単元の課題をもたせる。</p> <p>・単元名、リード文、題名から書かれている事柄を想像する。 ・単元の課題をたてる。 ・「平和のとりでを築く」の初読の感想を書く。 ※範読</p>	<p>・戦争や平和に関して、進んで発表している。 (発言・観察) ・教材文を読み、原爆ドームや戦争、平和に関して感想を書いている。(観察・ノート)</p>		<p>・新出漢字、分からない語句について調べる。(ノート)</p>
第2次 レベル2	2	<p>「平和のとりでを築く」を読み、内容の概略をつかみ、文章構成を捉え、学習の見通しをもたせる。</p> <p>・段落を分ける。 ・学習計画を立てる。 ・段落①を読み、読みの課題をたてる。 ※役割読み、自由読み</p>	<p>・題名や段落①から、読みの課題を捉えようとしている。(発言・観察)</p>	<p>・書かれている内容について大まかな内容をつかみ、文章構成を捉えている。 (発言、ノート)</p>	
	3	<p>原爆ドームのたどった歴史を捉えさせ、原爆について自分の考えをまとめさせる。</p> <p>・原爆が投下される前と後の広島の様子をまとめる。</p>	<p>・具体的な事例と筆者の考えを捉え、感想を持っている。(発言・観察)</p>	<p>・物産陳列館として完成してから、原爆ドームになるまでの歴史を読みとり、原子爆弾に対する自分の考えを</p>	<p>・段落や文章の役割を理解する。(観察・発言) ・文章の構成をつかむ。 (観察・発言)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・原爆についての考えを書く。 <p>※指名読み、役割読み</p>		持つ。(発言・ノート)
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>原爆ドームが保存されるようになった理由を捉えさせ、その思いについて自分の考えをまとめさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・保存反対論の思い、賛成論の願いをまとめる。 ・原爆ドーム保存についての考えを書く。 <p>※リレー読み、指名読み、役割読み</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見が原爆ドーム保存へと固まった理由を読みとり、その思いについて自分の考えをもつ。(発言・ノート)
(本時)	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>原爆ドームが世界遺産になった理由を捉え、平和を求める気持ちについて自分の考えをまとめさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドームの遺跡としての特徴をまとめる。 ・平和を求める気持ちについての考えを書く。 <p>※リレー読み、指名読み、役割読み</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドームが世界遺産に認められた理由をまとめ、世界の人々の願いについて自分の考えをもつ。(発言・ノート)
	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>筆者の伝えたいことを捉え、平和のとりでについて自分の考えをまとめさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコ憲章の一文と筆者の考えをまとめる。 ・平和のとりでとは何か自分の考えを書く。 <p>※指名読み、役割読み、唇読み</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の伝えたいことを、叙述の意味することを押さえながらまとめている。(発言・ノート)
第3次	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分の考えを発信するため、計画を立て、見通しをもたせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えを発信しよう」を読む。 ・計画を立てる。 <p>※役割読み、唇読み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「平和」について自分の考えを発信するために、多様な資料を通じて自分の考えを組み立て、文章を書こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発信するための計画を立てている。(ノート・発言)
レベル3	8		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題に沿って、本や雑誌、新聞、イン 	
	9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>要旨を設定し、必要な資料を集めさせる。</p> </div>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットと学習を読み、手順の確認をする。 ・資料を集める。 		<p>ターネットなどを活用し、資料を集めている。 (観察・ノート)</p>	
10 ・ 11	<p>集めた情報を伝えやすいように自分の考えを加えてまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の選択をする。 ・文章構成を考える。 ・構成をもとに、自分の考えを書く。 <p>※微音読、唇読み</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・集めた資料の中から必要なものを選択し、自分の意見が伝わるように組立を考えている。 (ノート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成を考える。
12 ・ 13	<p>書いた物を読み合い、意見を交換し、学習を振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発表する。 ・意見を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この学習で学んだことや自分の思いを、伝えようとしている。(発表) ・友だちの考えに対し、自分の意見を持つようとしている。(発表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聞き、自分の意見を伝えている。(発言・ノート) 	

7 本時の指導

(1) 目標

(関心・意欲・態度)

○具体的な事例と筆者の考えを捉え、自分の考えを持つとする。

(能力)

◎市民の意見が原爆ドーム保存へと固まった理由を読み取り、その思いについて自分の考えを持つことができる。

(言語についての知識・理解・技能)

○段落や文章の役割を理解し、文章の構成をつかむ。

(2) 指導にあたって

本時は、段落⑥⑦⑧の「原爆ドームが保存されることになった理由」を読みとり、保存へと動いていった人々の思いについて自分はどのように考えるか感想を持つことがねらいである（レベル2）。

まず、議論の争点について押さえる。「原爆のむごたらしいありさまを思い出すから」ということをしっかりと押さえさせる。

次に、少女の日記と反対論の意見を比べさせ、どちらも原爆ドームに対する見方は同じであるという事を理解させる。その上で、どのような考えが意見の違いになっているのかを考えさせていく。その際に、日記と反対論の意見を比較できるように板書の工夫をしたり、反対、賛成の立場に分けて思いを想像させながら音読させたりし、違いに気づかせる。比較して読むことで、保存するという事は、未来の、世界の平和を願うことにつながるということにも気づかせたい。

最後に保存を選んだ市民の思いを考えさせ、保存へと固まった理由について自分の言葉でまとめさせる。

(3) 本時における音読活動のねらい

- つかむ ・自由読み →前時との学習のつながり、本時の学習内容をつかませる。
 考える ・リレー読み→議論に関係する表現をつかませる。
 ・指名読み →それぞれの思いを想像させる。
 深める ・役割読み →人々の思いを想像しながら読み、保存の理由を理解させる。
 まとめる ・指名読み →自分が読み取ったことを振り返らせる。

(4)展開

段階	学 習 活 動 ○主発問 ・期待される児童の反応 ※音読	・支援 ●評価 【評価方法】
つかむ 7分	1 前時の想起 ○原爆の恐ろしさは何でしたか。 2. 課題把握 (1)粗筋を確かめる。 ※自由読み <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 原爆ドームが保存されることになったのはなぜだろうか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のノートや壁面を参考にさせる。 ・前時との学習のつながり、本時の学習内容をつかませる。
考える 15分	3 課題解決 (1)自分の考えを明らかにする。 ○自分は原爆ドームを保存したいか取りこわしたいか。 ・恐ろしいことを思い出すので、早く取り壊してほしい。 ・この建物は原爆の恐ろしさを伝えるので、残してほしい。 (2)議論に関係する表現を押さえながら、学習場面を音読する。 ※リレー読み (3)少女の日記が反対する人々を納得させた理由を考える。 ○少女の日記と反対論の似ているところは何か。 ・原爆ドームと痛々しい産業奨励館 ・むごたらしいありさまとおそろべき ○原爆ドームは何を思い出させるのか。 ・思い出したくないほど悲惨だった広島。 ○「おそろべき原爆」の恐ろしさとは何か。 ・十数年たって、病気で死ぬ。 ※リレー読み、指名読み	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもたせることで、主体的に学習に関わらせる。 ・「むごたらしい」の言葉の意味を確認し、段落④⑤を想起させる。 ・読みの視点「保存する側と取りこわす側の考え」を示す。 ・議論の争点から人々の原爆ドームに対する思いを読み取らせる。 ●考えの似ているところを読み取ることができる。 ↓【発言・サイドライン】 ・同じ意味の言葉をさがさせる。 ・p36 11～13までを読み、被爆の恐ろしさは続いていることを読み取らせる。
深める	○少女の日記と反対論の違う点は何か。 ・取りこわしたいのは、原爆の事実を忘れたいから。 ・保存したいのは原爆の事実を伝えたいから。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場に立って、反対論の意見と少女の日記を読み合わせ、違いに気づかせる。

<p>深める</p> <p>10分</p>	<p>※役割読み</p> <p>(4) 永久保存へと立ち上がった理由を考える。 ○原爆の事実を忘れることより、伝えることを選んだのはなぜか。 ・忘れてしまえば、また同じ事を繰り返すかもしれない。 ・忘れて幸せになるわけではない。 ・伝えていくことで、本当の平和が得られるから。</p> <p>(5) 全国の人々が手紙や寄付を届けた理由について押さえる。</p>	<p>●保存の理由を考えることができ↓る。【発言・挙手】</p> <p>・伝えていくことの意味を友だちの発言から捉えさせる。</p>
<p>まとめ</p> <p>13分</p>	<p>4 学習のまとめ</p> <p>(1) 自分の考えを振り返る。</p> <p>(2) 課題のまとめを書く。</p> <div data-bbox="220 864 1406 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>具体の評価規準【発言・ノート】</p> <p>A：社会の様子やその中で亡くなっていった少女の気持ちにふれながら、市民の意見が固まった理由と、それについての自分の考えをまとめている。</p> <p>B：市民の意見が固まった理由と、それについての自分の考えをまとめている。</p> <p>Cへの支援：文例を与える。</p> </div> <p>(3) まとめの音読をする。 ※指名読み</p> <p>6 次時の学習予定を確認する。</p>	<p>・はじめの考えとどう変わったか、変わったきっかけは何かを出させ、自分の考えを整理させる。</p> <p>・人々の強い思い、自分が特に訴えたいと思うことを強調しながらまとめの読みをさせる。</p>

(5) 板書計画

